

市立児童クラブ等のサービス向上に向けたサウンディング型市場調査の結果概要を公表します

本市では、児童館を23館、児童室を1室、こどもセンターを24館、市立児童クラブ（以下「児童クラブ」という。）を68クラブ、小学校内で実施している放課後子ども教室を4校、公設公営にて運営しておりますが、子どもの最善の利益を保障するため、サービスの充実と質の向上が求められており、併せて、人材確保や育成が大きな課題となっております。

これらの課題解決のため、今後の運営方法を幅広く検討するにあたり、民間事業者の持つノウハウやアイデア等をお聞きしたく、サウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果概要を公表します。

1 実施経過

令和5年 9月 7日（木） 実施要領の公表

令和5年 9月14日（木） 事前説明会の開催【参加団体：8団体】

令和5年10月16日（月）～10月20日（金） 対話の実施【参加団体：6団体】

2 対話内容

サービス向上のための提案

3 結果概要

別紙のとおり

4 今後の予定

今回のサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、運営方法の方向性の検討を進めていきます。

お問い合わせ
こども・若者支援課
電話 042-769-9227（直通）

サービス向上のための提案・意見

課題1：人員確保・職員の定着について

- ・ 地域時給の相場を確認し、必要に応じた給与の見直しを図る
- ・ パートや正社員等、職員の状況や希望に合わせた雇用形態を持つ
- ・ 各種求人媒体の活用
- ・ 職員の勤務地をエリアで定める事により、職員配置に幅が生まれる
- ・ 児童クラブを順次民営化する事で、その施設に勤務していた職員を別の直営クラブへ割り振ることができる
- ・ 人材を扱っている関連事業者へ声掛けをする
- ・ 就職フェア、お仕事フェアへ出展する

課題2：職員の資質向上について

- ・ 集合研修（対面）の他、リモート研修、動画研修等オンライン環境を活用し、職員自身が必要な研修を選択できる環境を整備する
- ・ 現行配置されている主任に対し、主任会議や集合研修を実施してスキルを上げ、そこで得た内容を現場に持ち帰ってもらい、主任を通じて全体のスキルアップを図る
- ・ 職員全員が受講必須の初期研修において、コンプライアンスや勤怠管理を教え、施設の特徴に応じたものは施設単位で、また対面で実施する
- ・ 研修の専門チームを設置する
- ・ 児童と接するに適した性質か、心理的な適性検査を実施する

課題3：職員のストレスケア、サポート体制について

- ・ 施設責任者を配置する
- ・ 一定数の施設に対し一人の統括責任者を配置し、保育に関する助言のほか、トラブルや緊急時の対応を行い、現場職員が保育に専念できる環境を整える
- ・ 施設内で複数事業（児童クラブと放課後子ども教室）を実施する場合は、施設責任者とは別に、それぞれの責任者を配置する
- ・ 相談窓口の設置、勤務条件や待遇の改善、定期的なアンケート等を実施する他、ストレスチェックを利用し、体調や心理的状况を確認する

課題4：子どもの居場所確保について

- ・ 児童館等の機能やサービスを拡大し、中高生の利用促進を図る
※開館時間の延長や防音室の整備等

効果的な運営に向けて

- ・民間事業者には、それぞれに人材確保のノウハウや人材蓄積があるため、委託した場合、一定程度安定した人員配置が望める
- ・民間事業者に委託してもらった方が、事業者の持つ実績や経験を活かし、これまで直営では難しかった事業の実施がしやすい
- ・市内のサービスを同水準とするために、児童館、こどもセンター、児童クラブをある程度まとめて民営化した方がよい
- ・地域性を考慮しエリアにまとめて民営化した方がよい
- ・近隣エリアでまとめて(その規模は事業者により差はある)民営化される方が事業者としては実施しやすいが、初回については、1~2施設のスモールスタートで開始し、受付のフローの確立や引継ぎの程度等を確認して進める方が、事故なく検証ができる